

(骨子案)

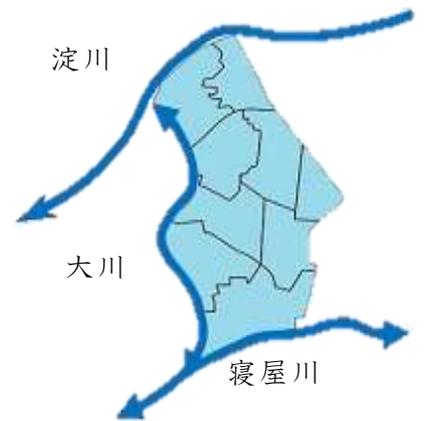
「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」
都島区将来ビジョン2025

2020年8月31日（現在） 都島区役所



目次

都島区将来ビジョン2025について	…… 1
都島区の概要	…… 3
区政の基本理念	…… 10
めざすべき将来像と取組の方向性	…… 11
区将来ビジョン2025の実現にむけて	…… 23



三方を川に囲まれた都島区

都島区将来ビジョン2025について

「都島区将来ビジョン2025」は、2018年度に策定したビジョンを踏まえ、それらの施策をさらに前進させるため、2021年度から5年後のめざすべき将来像と取組の方向性についてまとめたものです。

今後、このビジョンに沿って、「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」にむけて、区民の皆様とともに、区役所職員一丸となって取り組んでまいります。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

都島区長 大畑 和彦



都島区将来ビジョン2025について

区将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の皆様に明らかにするものです。

区将来ビジョン2025の計画期間

概ね5年とし、2021年度から2025年度末までの、施策展開の方向性などをお示ししています。

区将来ビジョン

2021 - 2025

区運営方針

2021

2022

2023

2024

2025

区将来ビジョンの単年度のアクションプランとして、区運営方針を毎年度策定します。

都島区では「大阪市地域福祉基本計画」のアクションプランとして、「都島区地域福祉ビジョン」を2019年に策定していますが、区将来ビジョンはこれらの計画・プランと相互に補完するものです。

都島区の概要

区の創設

1943（昭和18）年4月1日

位置と地形

都島区は、東経135度31分、北緯34度41分（区役所所在地）で、大阪市の北東部に位置します。地形は平坦で平均標高5m、最高地点は淀川堤の13mです。

区の面積は6.08km²で大阪市全体（225.30km²）の2.7%を占めます。（国土地理院発表2020年1月）

西側は大川に沿って南北に長く、北側は淀川、南側は寝屋川が区境界になっており、隣接している区は「北区」「中央区」「城東区」「旭区」「東淀川区」です。



都島区の概要

歴史

1943（昭和18）年4月1日、北区及び旭区から分離・再編して発足しました。

室町～安土桃山時代には、南部の京橋周辺は京街道と古堤街道の分岐点周辺にあたり、交通の要衝として栄え、江戸時代に入ると現在の都島通以北の地域が都市近郊の農村地帯として開墾されました。

明治時代以降は、大阪の急速な発展によって次第に農村地域から住宅地・工業地・商業地の混在した市街地に変貌を遂げ、大阪市北部有数の産業地区となりました。

戦後、繊維業や軽工業を中心に発展しましたが、1965年頃から社会問題化した公害対策等のため、工場は相次いで地方へ移転し、その広大な跡地は大規模住宅群に姿を変えています。

都島区の概要

北部

かつて紡績等の大工場が立地し、工業地域として繁栄しましたが、昭和40年代後半、大工場が郊外へ移転、その跡地などに公営・民営による大規模高層住宅群が建設され、生活関連施設も整備されたまちに生まれかわっています。また、JR おおさか東線の開通と城北公園通駅の開業（2019年3月）により、交通の利便性が飛躍的に向上しています。

中部から南部

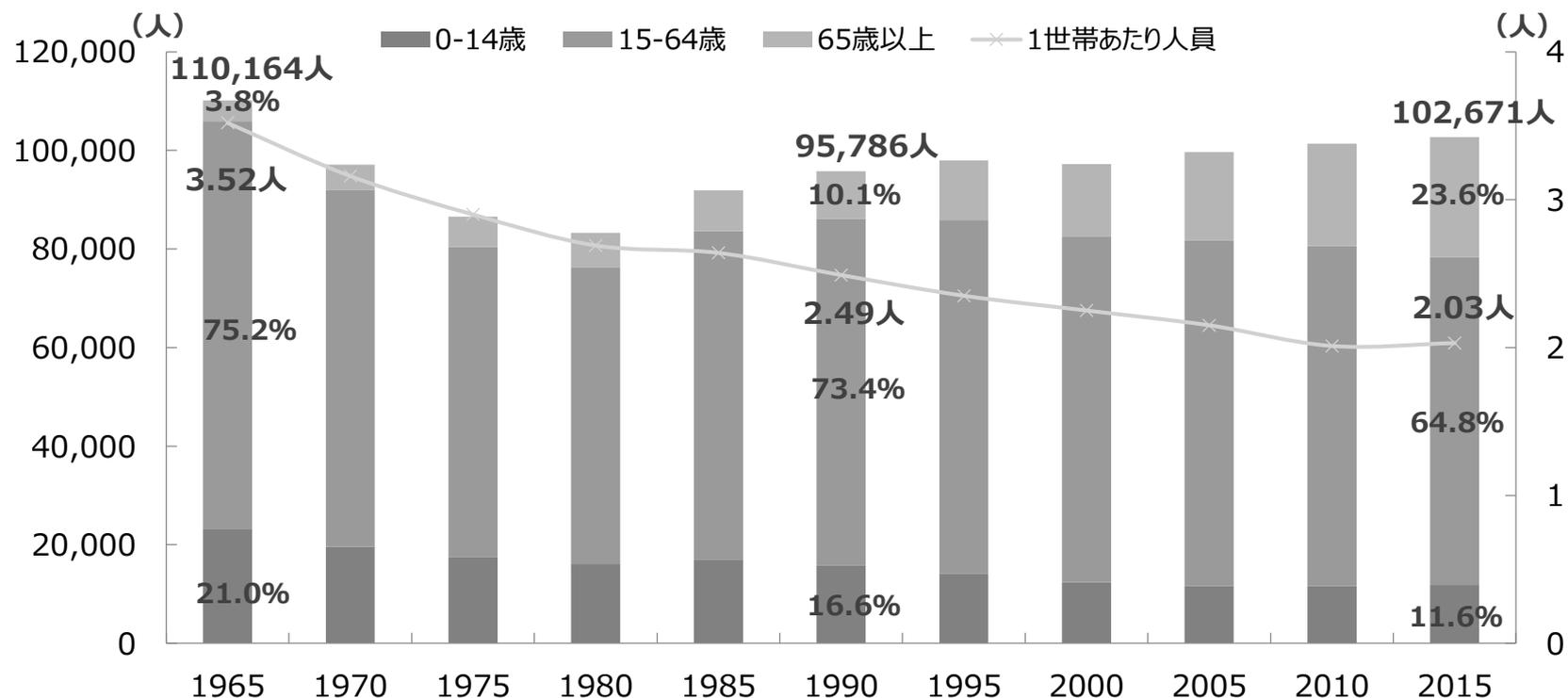
交通至便かつ、居住環境もすぐれた地域です。特に、市電都島車庫跡地及び旧国鉄淀川貨物駅跡地については、総合的な開発が進められた結果、職住近接の快適な都市型住宅や市立総合医療センターなどの施設、毛馬桜之宮公園などが立地し、水と緑に恵まれた景観と立地条件を活かした都市居住の魅力にあふれるまちが誕生しています。

京橋地区

JR 環状線、JR 学研都市線、JR 東西線、京阪本線及び大阪メトロ地下鉄長堀鶴見緑地線が相互に連絡し、大阪市東部を代表する交通要衝の地として賑わいを見せています。また、OBP（大阪ビジネスパーク）と隣接し、業務・商業施設が集積した地域です。

都島区の概要 人口の推移

各年「国勢調査」による

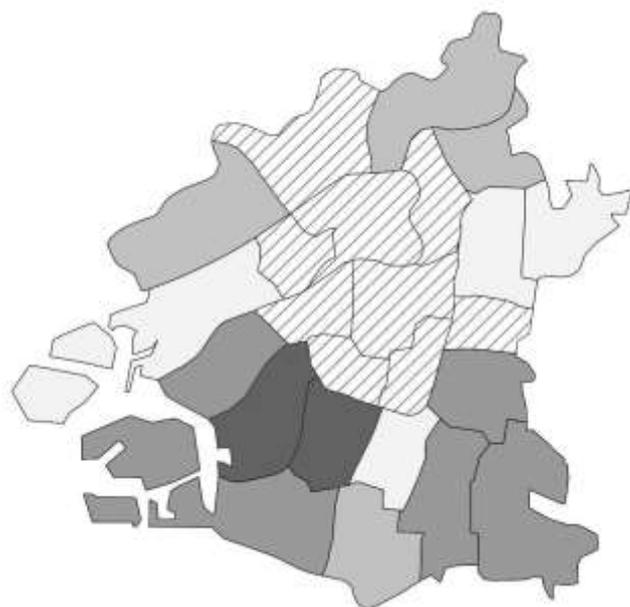


都島区の人口は1985年頃から、緩やかな増加に転じる一方、世帯あたり人員は減少傾向にあります。また、65歳以上人口の占める割合は、1965年の約4%から24%へと増加傾向にあります。

都島区の概要 将来人口予測

大阪市人口ビジョン 2020.3 より

各区の総人口推移（2015→2045増減率）



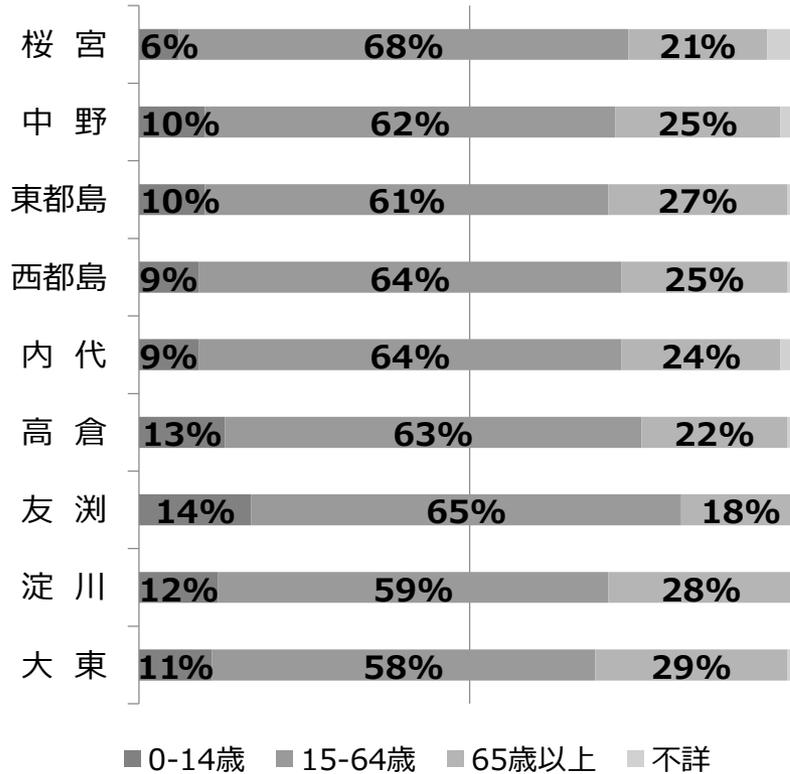
	プラス	北区、都島区、福島区、中央区、西区、天王寺区、浪速区、淀川区 東成区
	▲10%未満	此花区、城東区、鶴見区、阿倍野区
	▲20%未満	西淀川区、東淀川区、旭区、住吉区
	▲30%未満	港区、生野区、住之江区、東住吉区、 平野区
	▲30%以上	大正区、西成区

（資料）総務省「国勢調査」
「大阪市の将来推計人口（令和元年度）」

近年緩やかな増加傾向にある都島区の人口は、2045年においても2015年比で増加が予測されています。

都島区の概要 各地域の年齢比率

2015 国勢調査「小学校区別年齢比率」



0-14歳が占める割合が比較的多い友渚、高倉地域、65歳以上が占める割合が比較的多い大東、淀川地域など、地域ごとに差が見られます。

都島区の概要 その他

	都島区	大阪市	(出典)
面積	6.08 km ²	225.30 km ²	国土地理院 2020.1
人口	107,539 人	2,751,495 人	2020.6 推計人口
世帯数	55,923 世帯	1,455,632 世帯	''
1世帯あたりの人員	1.92 人	1.89 人	''
人口密度	17,687 人/km ²	12,213 人/km ²	''
外国人比率	3.22 %	5.34 %	2019.12 住民基本台帳登録
持ち家率	48.3 %	44.0 %	2015 国勢調査
人口1人あたりの公園面積	2.73 m ²	3.22 m ²	2019 大阪市区政概要
事業所数	4,981 カ所	179,252 カ所	2016 経済センサ活動調査
従業者数	43,462 人	2,209,412 人	''

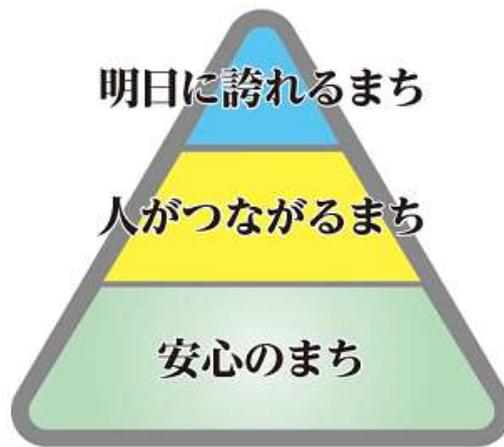
※ その他の詳細な統計については、人口・世帯数、コミュニティ、保健・福祉などのデータをとりまとめた「[みやこじまレポート2019\(資料編\)](#)」をご覧ください。

区政の基本理念

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現

防災・防犯・安全で美しいまちを基盤として、幅広い世代の区民がつながり、助け合ってまちづくりを進め、都島の恵まれた地域資源を活かした明日に誇れるまちをめざします。

コミュニティの柱



区役所力の強化

- 魅力あるまちづくり
- 未来の都島を担う人材育成

- コミュニティ豊かなまちづくり
- いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり
- 安心して子育てできるまちづくり

- 防災のまちづくり
- 防犯のまちづくり
- 安全で美しいまちづくり

- 区民の声が区政に反映される仕組みづくり
- 区民が満足・納得できる区役所運営

めざすべき将来像



安全・安心のまちづくり



- 全区民が災害の備えをし、避難行動できる状態。
- 全区民が防災を意識し、街頭における犯罪を抑止する環境が整っている状態。
- ごみのポイ捨てや喫煙・自転車マナーが守られるなど、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態。



地域防災訓練



人と人がつながり、助け合うまちづくり



- これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、若い世代やマンション住民など、より幅広く人と人がつながり、身近な地域の中で生活課題の解決に取り組むなど、地域コミュニティが活性化している状態。
- 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態。また、区民がいきいきと健康で生活することができる状態。
- 母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。また、子育て世代の保護者が、身近なところから支援を受け、子育てを楽しいと感ずることができる状態。



みやっこみんなで健康づくりのつどい

めざすべき将来像



明日に誇れるまちづくり



- まちの魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。
- 経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもの可能性が最大限活かされる状態。



区役所力の強化



- 多様な区民の意見やニーズを適切にとらえ、それらを踏まえた説明責任が果たされるよう、区政に関する情報が区民全体に着実に届けられるとともに、施策や事務事業の企画・計画の段階から評価の段階に至る全てのプロセスにおいて区民の参画を得ながら、区の特長や地域実情に即した区政が運営される区民主体の自治が実現している状態。また、区役所が、区民に身近な総合行政の拠点として、信頼されている状態。
- 区役所が、区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となるとともに、区役所業務の運営について、区民の視点から見て納得していただける状態。





1 安全・安心のまちづくり

1-1 防災のまちづくり

現状・課題

災害時には、一人ひとりの意識と、日頃からの備え及び避難行動が重要であり、約7割の区民は災害への備え（自助）ができている。しかし、約2割の区民は意識はもっているが、備えまでは至っていない。また、避難所開設・運営にあたっては、ソーシャルディスタンスを踏まえた対策が必要。

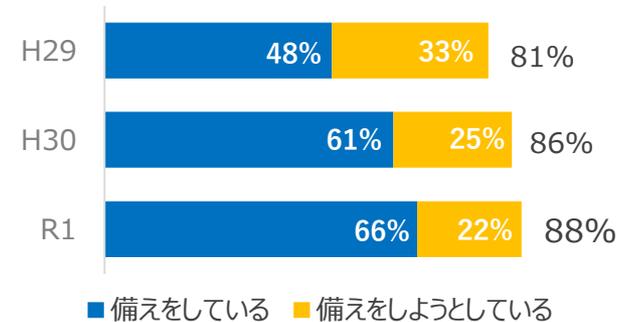
めざす状態

区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができている状態。

取組の方向性

日頃の備えの必要性や災害時の避難行動など防災意識の向上を図るため、地域の防災訓練や出前講座等の支援のほか、広報誌やSNS等の様々な媒体を活用した啓発活動等に取り組む。

災害への備えを意識している区民の割合



(区民アンケート)



避難所開設訓練

アウトカム（成果）指標

災害への備え（自助）ができていると答える区民の割合

現状値

R元年度

66%

目標値

R5年度

75%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。



1 安全・安心のまちづくり

1-2 防犯のまちづくり

現状・課題

警察や地域と連携した啓発等に取り組むことで、自転車盗などは減少しているものの、子どもや高齢者を狙った犯罪は増加しており、特に、高齢者を狙った特殊詐欺の被害件数は増加し、区民一人ひとりの防犯意識の向上や見守り活動が重要となっている。

めざす状態

街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち。

取組の方向性

区民等の防犯意識の向上を図るため、防犯カメラの設置や青色防犯パトロールによる巡回に加え、警察と連携し、市民協働による啓発活動を推進するとともに、地域安全センターの活用や広報誌、SNSなど様々な媒体を活用した啓発活動等に取り組む。

アウトカム（成果）指標

区民の防犯意識の向上が、街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じる区民の割合

現状値

R元年度

—

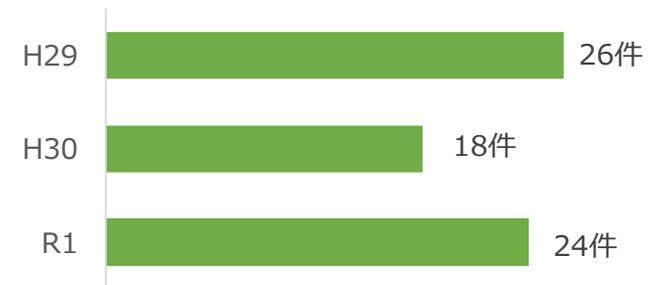
目標値

R5年度

70%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

都島区内の特殊詐欺被害の状況



（大阪府警本部資料より）



青色防犯パトロールカーによる巡回



1 安全・安心のまちづくり

1-3 安全で美しいまちづくり

現状・課題

駅前の放置自転車やポイ捨てごみのほか、路上喫煙禁止地区での喫煙等により、区民・来街者の不快感などを抱かせている。

めざす状態

区民の環境美化意識が向上し、路上喫煙やポイ捨てごみの減少による美しいまち。

取組の方向性

放置自転車や居酒屋などの違法な客引行為の防止のほか、「路上喫煙禁止地区」における喫煙マナーの向上に向け、市民協働による啓発活動を推進する。また、区民等の環境美化意識の向上を図るため、広報誌やSNSなど様々な媒体を活用した啓発活動に取り組む。

アウトカム（成果）指標

市民協働による啓発等の取り組みが区民の環境美化意識の向上につながっていると感じる区民の割合

現状値

R元年度

61%

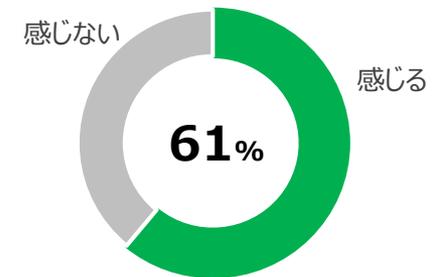
目標値

R5年度

70%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

市民協働による啓発等の取り組みが区民の環境美化意識の向上につながっていると感じる区民の割合



（元年度区民アンケート）



都島クリーン作戦（毛馬桜之宮公園）



2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

現状・課題

個人の生活様式や価値観の多様化、新たな生活様式を求められるなど、人と人とのつながりの希薄化が進んでいる。また、地域住民の参加が少ない地域や、地域特性に応じた取組が進んでいない地域がある。

めざす状態

地域コミュニティづくりなど地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。

取組の方向性

これまで地域との関わりが少なかった若い世代やマンション住民も参加する、人と人がつながる機会を提供する。また、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、多くの住民が安心して参加できる自律的な地域運営を推進する。

アウトカム（成果）指標

地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合

現状値

R元年度

77%

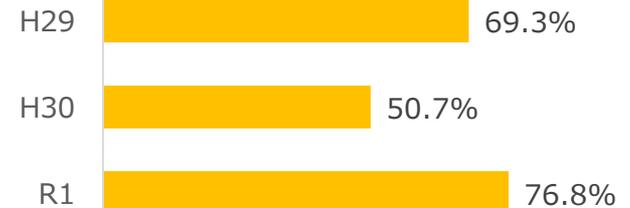
目標値

R5年度

90%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合



（まちづくりアンケート）



地域課題の勉強会



2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

現状・課題

地域コミュニティの希薄化を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきている。さらに、感染症拡大下における要援護者への対応も求められている。また、少子化が進み、出産・育児の手技等に関して相談できる者が周囲に少ない。

めざす状態

地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域において見守り活動が効果的に行われ、安心して生活ができると感じられる状態。
母乳育児等に関する育児不安が軽減され、親子の健全な絆が育まれるとともに子どもの安らかな発達が促進される状態。

取組の方向性

見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう支援体制を整備する。
ワーキングマザーなど様々なライフスタイルに応じた支援体制や、身近な授乳や子育ての相談体制を整備する。

アウトカム（成果）指標

地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると回答した区民の割合

現状値

R元年度

50%

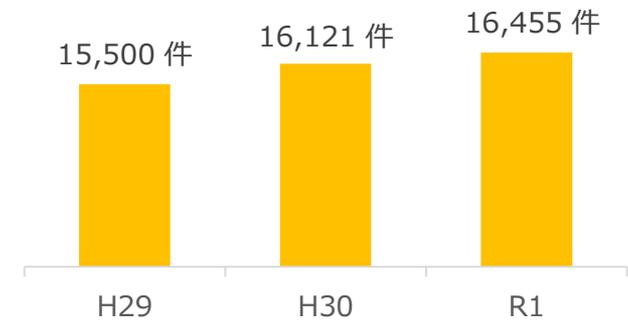
目標値

R5年度

70%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

地域福祉コーディネーターによる
見守り活動件数



地域福祉コーディネーターによる相談



2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

2-3 安心して子育てできるまちづくり

現状・課題

子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所が分からず地域で孤立する傾向にある。

めざす状態

身近なところに乳幼児期の子育てについての相談窓口があり、いつでも気兼ねなく利用できる状態。
保護者が、学齢期の子育てに不安を感じた時、すぐに相談できる状態。

取組の方向性

子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、子育て支援を推進する。

アウトカム（成果）指標

子育てに不安を感じたときに相談するところがあると回答した区民の割合

現状値

R元年度

75%

目標値

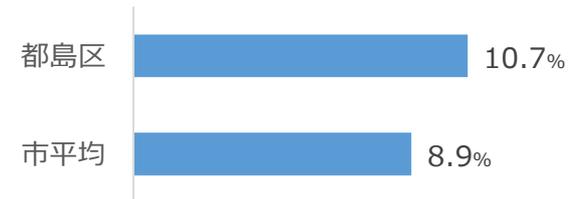
R5年度

80%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人がいない

保護者へのアンケート



「子どもの生活に関する実際調査」（28年度実施）



子育てイベント（親子体操）にて子育て支援室を案内



3 明日に誇れるまちづくり

3-1 魅力あるまちづくり

現状・課題

三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地条件、歴史文化などの資源が、地域の魅力向上や活性化に十分に活かされていない。また、区外、区内への情報発信が不足している。

めざす状態

毛馬桜之宮公園を中心とした水辺、まちの賑わいづくりの活動が民間主体により継続的に実施されている状態。
区民が区の歴史文化資源等を認識し、区に愛着を持っている状態。

取組の方向性

関係機関と連携・協働したイベントや情報発信による機運づくりにより、水辺のまちづくり、地域の活性化を進める。また、区の歴史文化資源の発信を行うとともに、区民が関心を持てる事業を展開する。

賑わいづくり、魅力発信の実施事例
(2018～2020)

- 水辺のイベント（ビーチバレー大会、桜ノ宮ビーチフェスティバル など）
- 城北公園通駅高架下アートプロジェクト2020
- 「まんが蕪村さんの歴史漫遊記」、「史跡マップ」の更新、発行
- 区魅力発信映像の動画配信 など



アウトカム（成果）指標

区に愛着を感じる区民の割合

現状値

R元年度

88%

目標値

R5年度

90%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。



3 明日に誇れるまちづくり

3-2 未来の都島を担う人材育成

現状・課題

子どもを支える人や場が不足しており、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会を保障する支援が必要。

めざす状態

子どもが、明るく健やかに成長していく状態。

取組の方向性

学校内外で、子どもを支える環境の充実に向けて取り組む。

アウトカム（成果）指標

「将来の夢や目標を持っている」と回答する児童・生徒の割合

現状値

R元年度

74%

目標値

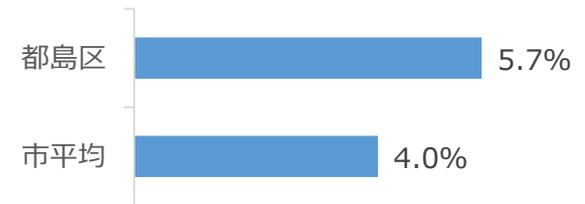
R5年度

78%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

いやなことや悩んでいることがあるとき、
誰にも相談できない

小中学生へのアンケート



「子どもの生活に関する実態調査」(28年度実施)



4 区役所力の強化

4-1 区民の声が区政に反映される仕組みづくり

現状・課題

インターネットやご意見箱等、様々な方法で区民の声を受け付けているが、行政へのアプローチに至らない、表面化しにくい意見を把握できていない可能性がある。また、区政情報取得の手段として「広報誌」の定着はみられるが、情報発信をより進めていくためには、ホームページやSNSの利用を高める必要がある。

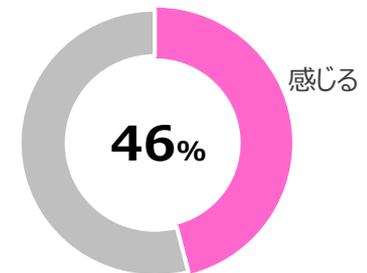
めざす状態

区民の意見やニーズを的確に把握し、施策・事業を展開できている状態
区民に、区政運営等の情報を届け、理解が得られている状態

取組の方向性

施策・事業の方向性に対する意見や、成果における評価を得られるよう、区民が参画できる取組を行う。また、すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。

区役所が、さまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合



(元年度区民アンケート)



アウトカム（成果）指標

区役所が、さまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合

現状値

R元年度

46%

目標値

R5年度

70%

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

4 区役所力の強化

4-2 区民が満足・納得できる区役所運営

現状・課題

継続的に研修を実施した結果、サービスレベルの向上につながり、☆2つ(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)評価点平均3.5点を獲得したものの、評価点が3.5点を下回る窓口がある。

めざす状態

区役所来庁者等に対する窓口サービスを向上させ、24区中トップレベルのサービスを実現している状態。
区役所の業務が効果的・効率的に運営されるような様々な取組が進められており、その取組が評価されている状態。

取組の方向性

庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、来庁者の声を適切に把握し改善につなげる。また、区役所業務の運営について、業務プロセスの改善・事務の集約化など効率化を進める。

アウトカム（成果）指標

「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」における、すべての調査対象窓口（全5）の評価点

現状値

R元年度

3.5点以上の
窓口：2

目標値

R5年度

3.5点以上の
窓口：全て

※2025年度（令和7年度）までの目標については、2023年度（令和5年度）の実績を踏まえて設定する。

来庁者等に対するサービスの格付け結果

H29	★☆☆	3.2
H30	★★☆	3.5
R1	★★☆	3.5

- ★3つ 全国に誇れる極めて高度なレベル(4.5-5.0)
- ★2つ 民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル(3.5-4.4)
- ★1つ 民間の窓口サービスの平均的なレベル(3.0-3.4)

(各区役所の来庁者等に対する窓口サービスについて
民間の事業者による覆面調査)



照明のLED化と飾り付け

区将来ビジョン2025の実現にむけて

協働によるまちづくり

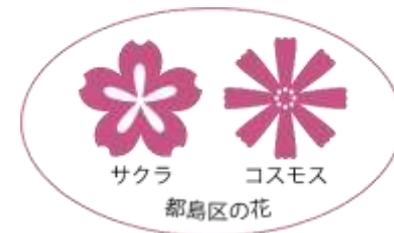
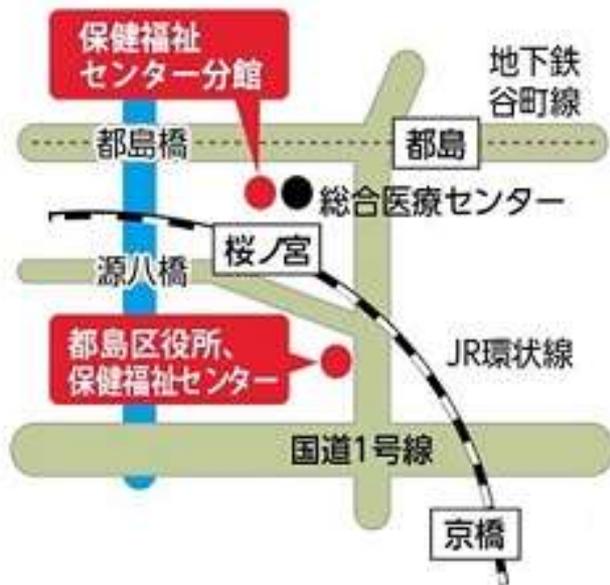
ビジョンに掲げる将来像の実現には、区民の皆様はもとより、地域団体、企業など、都島のまちづくりに関わる方々との連携や協力が必要です。

区役所は区民の皆様の活動に協働し、支援していくことを基本として、ビジョンの実現に取り組んでまいります。

運営方針の策定とPDCAの実行

ビジョンの推進にあたっては、単年度のアクションプランとして区運営方針を毎年度策定するとともに、定期的に事業の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげる等PDCAを意識した施策展開を実行してまいります。

なお、自然災害や感染症などの影響や、駅周辺の開発など都島区を取り巻く今後の環境変化に対応して、各戦略ごとの成果目標については、毎年度の運営方針で設定し、随時見直ししながら、効果検証を図るものとします。



大阪市都島区役所 総務課（政策企画）

〒534-8501 大阪市都島区中野町2-16-20

電話 : 06-6882-9989

ファクス : 06-6882-9787

メール : tb0010@city.osaka.lg.jp

